



「二酸化炭素(CO₂)排出量の
実質ゼロを目指す『ゼロカーボン
シティ』を宣言している関市の取
り組みに貢献したい」と語るのは、
一般廃棄物収集運搬の関環境サー
ビス(関市倉知)の溝口雅也社長
(41)。

業務内容は一般廃棄物の収集運
搬のほかに、し尿くみ取り処理や
浄化槽の清掃、市から委託を受け
て可燃ごみ、資源ごみの収集など

近況 ゼロカーボンで恩返し

に及ぶ。

10年以上前からは、市内の飲食
店から回収した天ぷら油などの廃
食用油を再利用して精製したバイ
オディーゼル燃料(BDF)を業
務用トラックで使用。BDFは植
物由来で大気中のCO₂を吸収して
おり、CO₂排出量は実質ゼロにな
るとされている。

今年、世界的な環境規制に対応
した、高純度のBDFを精製でき
る設備を導入。今後は、一般家庭
からの回収や災害時避難所の発電
機への利用などを検討する。「カ
ーボンニュートラルやSDGs
(持続可能な開発目標)が注目さ
れている。関市で仕事をさせても
らっており、関市のために恩返し
ができればうれしい」と話す。